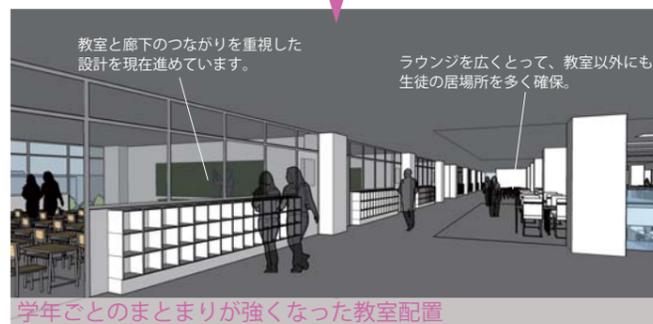


## 進化する新校舎の設計案

これまでに3回のワークショップを行ってきましたが、その度にたくさんの貴重な意見・思いをワークショップ参加者の議論から得ることが出来ました。それらの意見は並行して進められている設計会議にも大きく影響しており、ワークショップから新たな議題・問題点を発見し、新校舎の設計案を進化させていく重要な役割を果たしています。現在、案の進化に合わせて3Dモデルを作成していますが、それを使って新校舎でどのような生活が送られるかをシミュレーションしてみました。具体的には朝、登校して教室に入るまでの生活をイメージしています。

新校舎完成後のある日の朝・・・



高校生活を日常の一部、高校の校舎をみなさんの生活の舞台として考えると、校舎の中で授業以外にも登校時・休み時間・放課後の間に、友達との交流・部活動などの様々な活動が行われている事に注目することができます。教室ごとの使い勝手だけでなく、全体的な視点から、校舎をどう使っていか、どういった活動を起こしていくか、を考えていくことで、まだまだ新しいアイデア・提案を作り出すことができ、よりよい校舎が実現する近道になるのではないのでしょうか。次回のワークショップでも参加を期待しています。

## おわりに

ニュースレター第3号はいかがでしたか？第3回ワークショップでは、桜紫モールのデザインを通して校舎全体に視点を拡張して、新校舎について議論していく試みを行いました。新校舎の大きな方向性が徐々に固まってきましたが、まだまだ考えるべき点はたくさんあります。10月28日(水)の第4回ワークショップでは、新校舎の将来像について高松第一高校の皆さんに議論していただきたいと思っています。お楽しみに！

## 高松第一高校デザインプロジェクト



ICHI-KO Design Project News Letter vol.03

## 7/8 第3回デザインワークショップ開催！ 桜紫モールをみんなでデザインする。

### 新しい学びの空間、桜紫モール。

未来の新校舎を高松第一高校の皆さん、日本設計、高松市、門内研究室などが一体となってデザインしていく「高松第一高校デザインプロジェクト」では、前回のニュースレターでお知らせした6月10日の第2回ワークショップに続き、7月8日に第3回ワークショップを開催しました。

第2回ワークショップでは、一高の皆さんが自分たちの手で新校舎をデザインしていく試みとして「デザインゲーム」を行いました。要望を言ったり、意見をポストイットに書き出したりするだけでなく、実際に手を動かして教室を並べ替えたり、新しい空間を作ってみたりすることで、自分たちにとってどんな高校になって欲しいか、一高とはどうあるべきか、という事を皆さんに考えてもらいました。各グループごとに提案された色々なアイデアが詰まったデザイン案から、今まで議論されてこなかった問題、新校舎がもっている未知の可能性などが次々と発見されました。

議論やワークショップを重ねていくうちに、教室など今の校舎にもあって身近な存在であった場所に関してはイメージしやすい分、意見が多く集まっているのですが、新しい学びの空間として、新校舎に提案されている桜紫モ

ールといった共用空間について、もっと具体的に考えていく必要がありました。

そこで、第3回ワークショップでは「桜紫モール」を中心とした、校舎全体に広がる共用部のデザインをテーマとしてグループワークを行いました。いろいろな学校の共用空間の事例や、新校舎の3DのCGモデルなどを使いながら、桜紫モールのイメージをつかんで、実際にどういう使い方をしていくのか、家具や設えなど、細かい部分はどのようにしていくか、ということ議論していきました。教室ごとの部分だけでなく、共用空間という校舎中に広がる空間について議論していくことで、校舎全体を見ていく視点を皆さんに持ってもらうのではないかと、思います。

新校舎の設計もどんどん進行し、大まかな平面計画や方向性が定まりつつあります。特色ある校舎づくりを実現するためには、高松第一高校のこと、校舎のことを知っている皆さんのワークショップなどの意見がとても重要です。次回、第4回ワークショップは10月28日(水)に開催予定ですが、たくさんの方々に参加していただき、皆さんで将来の一高をデザインしていきましょう。



一高生・先生たちが自ら考え、デザインしていく新校舎の様々な姿。



# テーマ 『共用空間をデザインする。』

場所： 高松第一高校 大会議室  
日時： 16時30分～18時00分  
参加者： 高松第一高校 在校生29人 教職員4人

## 開催内容

前回の第2回ワークショップでは、デザインゲームという手法を使って、自分たちの手を動かして教室などの配置・大きさ、教室間の関係性に注目していった、ワークショップを行いました。

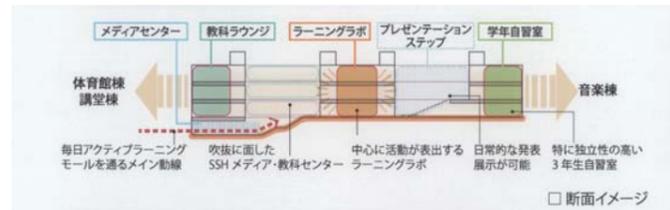
今回の第3回ワークショップでは、校舎の中でも教室のような使い方をイメージしやすい空間ではなく、**多様な使い方が考えられる共用空間**（廊下、ラウンジ、アクティブラーニング・ラボなど）に注目したワークショップを行っています。

新校舎の大きな特徴である、桜紫モールを中心とした共用空間について、空間のイメージを掴んでもらい、その使い方、家具や設えの提案などをグループで議論してもらい、みんなで新校舎における共用空間のデザインを行ってもらいました。

## 桜紫モールについて

新校舎における新しい学びの空間として、**桜紫モール**という、学校全体を一体的につなぐ大きな吹き抜け空間が計画されています。

その吹き抜けに面して、自習スペースやラウンジ、アクティブ・ラーニング・ラボ、プレゼンテーションステップ、といった今までにない学習空間などが提案されています。



学校全体をつなぐ学習空間としての桜紫モール

## ワークショップの流れ

**16:30 前回のふりかえり**  
第2回ワークショップのふりかえり。各班の発表内容やデザインゲームの成果物などを見て、前回のワークショップで出た意見・思いなどを参加者全員で共有しました。

## 共用空間をデザインする

**16:40 イントロダクション**  
共用空間（桜紫モール）のイメージを持ってもらうために、桜紫モールについての説明、共用空間の事例紹介、新校舎の3Dモデルの提示などを行いました。



**17:10 テーブルセッション**  
グループに分かれて、先ほど見た共用空間のイメージを元に、自分たちでどんな家具・設えにしていくか、などを考え、自らの手でデザインを進めました。



**17:30 全体セッション**  
各グループごとにテーブルセッションで集めた意見を発表してもらいました。

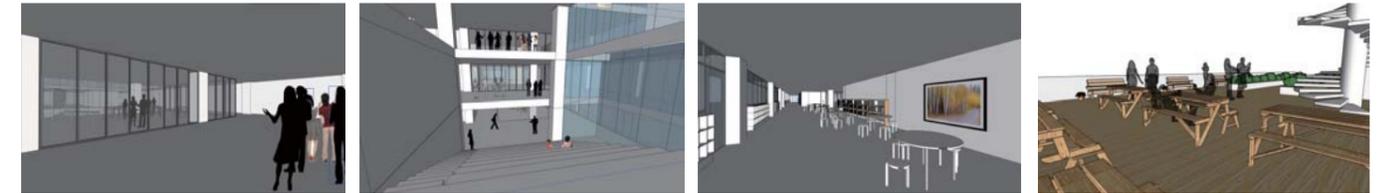


**17:55 まとめ**

**18:00 閉会**

## 新校舎の3Dモデル

イントロダクションで、新校舎がどのような姿となっているのか、その中でも、桜紫モールを中心とした共用空間、というのがどのような空間なのかイメージを持ってもらうため、門内研究室で新校舎の3Dモデルを作成し、校舎の中に入り込んで中を歩き回るような形で、参加者のみなさんにお見せしました。新校舎にも計画されている、**アクティブ・ラーニング・ラボ、プレゼンテーションステップ、自習室、廊下、職員室、テラス、学生ラウンジ**、という7つのスペースをこのワークショップでは取り上げています。

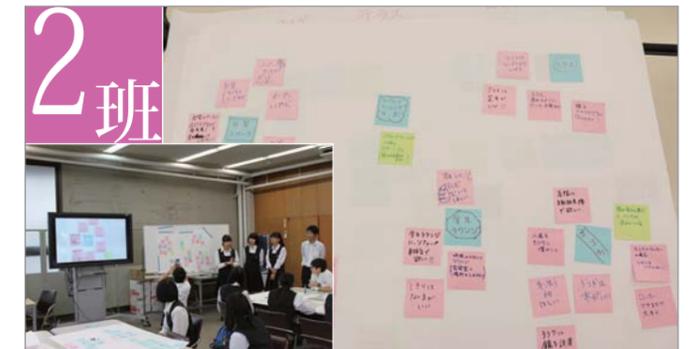


## 各班ごとの発表内容

ワークショップの最後に、各班にデザインの提案を発表してもらいました。事例・イメージカードを参考にしながら、グループ内での議論を通して、共用空間の使い方、あったらいいと思う家具や設えなどの様々なアイデアが生み出されています。このワークショップを通して、授業中での各教室の使い方だけでなく、**休み時間・放課後や大きな行事が行われる時の校舎全体の使い方**を考えることができたのではないかと、思います。



**1班**  
**自習室**：静かで集中できるようなスペース  
**プレゼンテーションステップ**：文化部の発表や給食など、大人数で使いたい。  
**廊下**：低めのロッカーを置いて、教室がガラス越しに見えるように。  
**テラス**：芝生や雨でも使える屋根のあるスペースを置く。  
**学生ラウンジ**：一人で勉強する自習室と、皆で話しながら勉強するラウンジの使い分け  
**ラーニング・ラボ**：開放的、磁石などで掲示できるような壁



**2班**  
**自習室**：吹抜に面しているスペースでは賑やかすぎる？一人で黙々と勉強する場所、みんなで話し合っ勉強できる場所を別に。  
**職員室**：先生がいるかどうか一目で分かるよう、ガラス張りに。  
**学生ラウンジ**：ソファ・卓球台・テレビなどくつろげるような家具。  
**ラーニング・ラボ**：前後にスクリーンを2つ付ける。  
**廊下**：各階に自販機や手洗い場。木の暖かい雰囲気。ロッカーに扉をつけてほしい。



**3班**  
**自習室**：各階ごとに色んな設え。(畳、カーペット敷き、フローリングなど)  
**学生ラウンジ**：体育以外でも運動できるような場所(フットサル、パターゴルフ)気軽に質問できるコーナー、カーテンのようなもので仕切る  
**プレゼンテーションステップ**：階段としても使うため、手すりの設置など安全性に配慮  
**廊下**：廊下全体がホワイトボードですぐ書いたり、教えられるように。教室の前にベンチ。美術館と作品を貸し借りして展示できるような場所。



**4班**  
**テラス**：人工芝。机・ベンチでお昼を食べる、放課後は部活のスペースとして活用。  
**職員室**：先生と向き合う、大人数で質問できるスペース。持ち運べる黒板。  
**自習室**：一人で集中する場所なのでガラス張りではなく、仕切る。イスや照明の高さを調節できたり、本を立てられる棚がついた机。  
**廊下**：安全性を考えると中に入れてほしい。ロッカーを中に入れて代わりにベンチを。教室の中が見える高さの窓。明るくてカラフルな雰囲気、観葉植物。